横浜市歌

森林太郎

青空文庫

わが日の本は島国よ
　朝日かがよう海に
　　連りそばだつ島々なれば
　　あらゆる国より舟こそ通え

されば港の数多かれど
　この横浜にまさるあらめや
　　むかし思えば　とま屋の煙
　　ちらりほらりと立てりし処

今はもも舟もも千舟
　泊る処ぞ見よや
　　果なく栄えて行くらんみ代を
　　飾る宝も入りくる港

青空文庫情報

底本：「横浜市歌」横浜市
　　1959（昭和34）年6月発行
※底本に「原歌を当用漢字、新かなづかいに改めた」の注がある。
入力：大野晋
校正：高瀬竜一
2017年1月12日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

横浜市歌

森林太郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/